



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	ミノラタウン掛川 Ⅱ期工事(D棟)	BEE	1.1	BEEランク	B+	★★★

2. 重点項目への取組み度						
重点項目	得点*/満点		取組み度		評価	
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.5	/5			ふつつ	
"災害に強いすおか"の形成 (Disaster)	2.8	/5			がんばろう	
"すおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.4	/5			ふつつ	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.1	/5			がんばろう	
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)			評価 凡例	よい 4 点以上	ふつつ 3 点以上	がんばろう 3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目	
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。			
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)		得点	3.5
<ul style="list-style-type: none"> ■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ④内装材はほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用 	<ul style="list-style-type: none"> Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④ 	<ul style="list-style-type: none"> ① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ④ 主要設備機器の更新必要間隔 	
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) 特になし 	<ul style="list-style-type: none"> Q-3 1 3 3.2 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上 	
<ul style="list-style-type: none"> ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑦BPI_m=0.66 ⑨BEI_m=0.75 	<ul style="list-style-type: none"> LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2 	<ul style="list-style-type: none"> ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制 	
<ul style="list-style-type: none"> ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑫グリーン購入法適合商品を積極的に採用 ⑬ノンフロン断熱材を採用し、環境に配慮している 	<ul style="list-style-type: none"> LR-2 1 1.1 1.2 1.2.1 1.2.2 ⑪ 2 2.1 2.2 ⑫ 2.3 ⑫ 2.4 ⑫ 2.5 ⑫ 2.6 ⑫ 3 3.1 ⑬ 3.2 3.2.1 ⑬ 3.2.2 ⑬ 3.2.3 ⑬ 	<ul style="list-style-type: none"> ⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒 	
<ul style="list-style-type: none"> ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭LCCO₂排出率=77% 	<ul style="list-style-type: none"> LR-3 1 2 2.2 	<ul style="list-style-type: none"> ⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善 	
"災害に強いすおか"の形成(Disaster)		得点	2.8
<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) 特になし 	<ul style="list-style-type: none"> Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰ 	<ul style="list-style-type: none"> ⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備 	
"すおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)		得点	3.4
<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑳ゆとりある階高設定 	<ul style="list-style-type: none"> Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲ 	<ul style="list-style-type: none"> ⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ 	
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (⑳地域性・アメニティへの配慮) 特になし 	<ul style="list-style-type: none"> Q-3 3 3.1 	<ul style="list-style-type: none"> ⑳ 地域性への配慮、快適性の向上 	
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)		得点	2.1
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (㉑生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/㉓敷地内温熱環境の向上) 特になし 	<ul style="list-style-type: none"> Q-3 1 2 3 3.2 	<ul style="list-style-type: none"> ㉑ 生物環境の保全と創出 ㉒ まちなみ景観への配慮 ㉓ 敷地内温熱環境の向上 	
<ul style="list-style-type: none"> ■敷地外環境対策 (⑳持続可能な森林から産出された木材/㉔温熱環境悪化の改善) 特になし 	<ul style="list-style-type: none"> LR-2 2 2.5 LR-3 2 2.2 	<ul style="list-style-type: none"> ⑳ 持続可能な森林から産出された木材 ㉔ 温熱環境悪化の改善 	

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ミソラタウン掛川 II期工事(D棟)	階数	地上2F
建設地	掛川市高御所字前坪305-2,305-4の	構造	S造
用途地域	都市計画区域内 区域区分非設定	平均居住人員	86 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年5月 予定	評価の実施日	2022年10月4日
敷地面積	6,488 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社 静岡流通一級建築
建築面積	1,803 m ²	確認日	シートの保護を解除してください
延床面積	2,276 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 77%
③上記+②以外の 77%
④上記+ 77%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.4

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合 これはCASBEE静岡(2016年版)による評価結果です。	その他 特になし	
Q1 室内環境 内装材はほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用	Q2 サービス性能 ゆとりある天井高設定 耐用年数の長い部材を採用している	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー BPI _m =0.66 BEI _m =0.75	LR2 資源・マテリアル グリーン購入法適合商品を積極的に採用	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率=77% 光害チェックリスト、広告物照明の配慮事項の過半を満たすよう計画している

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される